

# 第73回 和歌山市医師会医学会総会 ご案内

日時 ▶ 令和4年11月12日（土）午後4時

場所 ▶ ① Web 配信（Cisco Webex）

② 和歌山ビッグ愛4階 和歌山市医師会大会議室

4:00 会長挨拶 和歌山市医師会会長 野村 康晴

4:10 特別講演 座長：和歌山市医師会理事 中谷 匡登

演 題 『医療情報を取り巻く環境とサイバーセキュリティ対策』

講 師 株式会社ワイズマン 西日本営業部  
大阪医療支店 支店長 亀宝 真一氏  
(医療情報技師、医療経営士3級、医療福祉情報連携コーディネーター)

〔オブザーバー〕株式会社ワイズマン 本社サポート部  
BPR（ビジネス プロセス リエンジニアリング）スペシャリスト  
畑中 孝夫氏（医療情報技師）

昨今、サイバー攻撃とそれに関する被害について報道でも度々目にするようになりました。自動車メーカー、通信業者、小売業者、医療機関、企業の大小問わず被害が多く発生しております。その被害報告も年を追うごとに増えている状況です。被害にあった事業者では被害の規模により大小ありますが数億円規模の被害を受けるケースや事業継続が困難に陥るケースも出ております。また、制度関連に目を向けると、改正個人情報保護法では、事業者の義務が強化され、罰則も30万以下から1億以下と大きく変わりました。国策によりマイナンバーカードの普及と保険証の代替が進み、オンライン資格確認・電子処方箋を皮切りに医療情報の共有化も開始しました。医療事業者ではレセプト情報に追加で診療データの提出を義務付けられるようになってきており、併せてHL7-FHIR等の標準規格への取り組みも本格化しております。介護ではLIFEのデータを提出する仕組みが運用開始されました。このような社会環境下では、医療情報を電子保存しながら、外部と接続をしつつ業務を行うことが求められています。社会環境の変化や法律の改正に伴い、いわゆる医療情報の取扱いに関する3省2ガイドラインについてもそれらを踏まえた内容に更新されました。本講演では医療情報を取り巻く環境の現状と今後求められる将来像に対し、ガイドラインを軸に運用、技術面の対策等について共有させていただきたいと考えております。

5:30 閉会挨拶 和歌山市医師会副会長 角谷 正文

※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、開催を中止させていただく場合がございます。